

自分のしたことがひとつひとつ形になっていく喜びがたまらない。

仕事と技術

設計士がおこした図面に基づき、主にナラ・チーク・マホガニーなどの外材を使って家具を作るのが家具職人の仕事。家具は大きく分けてテーブル・椅子・置物家具などの既製品家具と、造り付け収納棚・カウンターなどの造作家具に分けられる。造作家具は『特注家具』とも呼ばれ、注文者の意向と製作者の意匠をくみ取った上で製作されるものだ。最近は材料や部材が専門メーカーから半製品として販売され、精密な木工機械なども各社に配備されているので、彼らの仕事も大半は機械化されている。しかし、やはり細かい部分などは手作業が多く、物を作るのが好きな人に向けた仕事。丸テーブルなどの曲線家具や面付け飾り家具などは家具職人の腕の振るいどころである。

住



PROFILE

武田 元信さん (32歳)

家具職人になって14年目、玉屋装工に入社してからは9年目。趣味は「釣り、読書、将棋、音楽鑑賞etc」…と幅広い。

Voice of Voice

高校は普通科だったのですが「作る」という作業が好きで、この世界に入りました。14年たった今も毎日が新鮮だし、楽しいですよ。自分のしたことがひとつひとつ形になってゆくのたまらない。これ以上の満足感はないですね。時には1カ月くらいかかる大物にも取り組みますが、始まりと終わりがはっきりしているでしょ、この仕事って。その意味じゃ節目のきちんとした歯切れのよさもいいですよ。機械を使うので危険も伴うし、ちょっとした気の緩みも商品に反映される怖さもあります。自分の一生をかけられるくらいのやりがいはあると思います。家具はいつも人の側にあるもの。そのことを念頭に置いて、ずっと続けていきたいですね。後輩がたくさんほしいです。

一人前になるまで

1年目



2年目



3年目



一人前



取加工・接着加工など簡単な作業を手伝い

簡単な家具の製作に入る。器用な人は扉の建て付け、引き出しなどもできるようになる。

ある程度の家具は作れるようになる。

一通りこなせるようになるまでは5年が最低限度。曲線加工の家具やカウンター、面飾り付き家具ができるようになると一人前。

資格・免許

1・2級技能士・職業訓練指導員
インテリアプランナー・インテリアコーディネーター
1・2級施工管理士など

将来の展望

快適な住空間と機能を演出する家具の仕事は、これからますます重要になってくるだろう。